

リサ・バティアシュヴィリ、  
アラベラ・美歩・シュタインバッハ、  
玉井葉採、ヴィルデ・フラング……  
現在のヴァイオリン界を席卷する  
アナ・チュマチェンコ門下の才媛が初来演！

ヴェロニカ・エーベルレ  
ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ  
シャイ・ウォスネル  
*Shai Wosner, Piano*

バルトーク / ヴァイオリン・ソナタ 第1番 Sz.75

*Bartók / Sonata No.1, Sz.75*

J.S. バッハ / ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ホ長調 BWV1016

*J.S. Bach / Violin Sonata No.3, in E major BWV1016*

シューマン / ヴァイオリン・ソナタ 第2番 Op.121

*Schumann / Violin Sonata No.2, op.121*

使用楽器

ストラディヴァリウス「ドラゴネッティ」

(1700年製/日本音楽財団貸与)

*Veronika Everle, Violin*

©Felix Broede

2017.11/1 Wed. open 18:30  
start 19:00

ザコンサートホール 名古屋・伏見・電気文化会館

全指定席 ¥5,000 学生(U25) ¥2,500 ※学生券は電気文化会館チケットセンターのみ取扱い

【主催】電気文化会館  
(中電不動産株式会社)

【協賛】ミキモトグループ (株式会社ミキモト / 株式会社御木本真珠島 / 御木本製薬株式会社)

【共催】公益財団法人ソニー音楽財団  
(Sony Music Foundation)

【後援】 日本赤十字社 ※コンサートの収益金は、日本赤十字社へ寄付され、献血運搬車の購入・整備資金に充てられます。

【主催・お問合せ】電気文化会館(中電不動産株式会社)(052)204-1133

チケット  
お取り扱い

電気文化会館チケットセンター (052)204-1133 <http://www.chudenfudosan.co.jp>  
チケットぴあ 0570-02-9999 【Pコード:335-101】 [pia.jp/t](http://pia.jp/t)  
芸文PG (052) 972-0430

ザコンサートホール・メイ  
会員募集中!!

主催公演の優先予約&チケット2割引  
入会金無料 年会費1,200円



## ヴェロニカ・エーベルレ (ヴァイオリン) Veronika Everle (Violin)

ヴェロニカ・エーベルレの稀有な才能と安定感のある成熟したテクニックには、世界トップクラスのオーケストラ、コンサートホール、音楽祭、そして著名指揮者たちから賞賛が寄せられている。2006年のザルツブルク復活祭音楽祭で、わずか16歳でサー・サイモン・ラトルの紹介を受けて満席のザルツブルク祝祭大劇場に登場、ベルリン・フィルとベートーヴェンの協奏曲を弾き、世界中の注目を集めた。それ以後、世界の主要オーケストラ、著名指揮者に招かれ、ロンドン響（ラトル）、コンセルトヘボウ管（ホリガー）、ニューヨーク・フィル（ギルバート）、モントリオール響（ナガノ）、ミュンヘン・フィル、ゲヴァントハウス管（ラングラー）、ベルリン放送響（ヤノフスキ）、フランクフルト放送響（パーヴォ・ヤルヴィ）、バンベルク響（ティチアーティ、ノット）、チューリヒ・トーンハレ管（M.ザンデルリンク）、NHK響（コウト、シュテンツ、ノリントン）、ロッテルダム管（ラトル、ガフィガン、ネゼ＝セガン）と共演した。室内楽にも情熱をもって取り組んでおり、シャイ・ウォスネル、ラルス・フォークト、ルノー・カブソン、アントワン・タメスティと定期的に演奏している。2015/2016シーズンにはソプラノのアンナ・プロハスカと室内楽ツアーを行い、ウィグモア・ホール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ドルトムント・コンサートホールを始め、ヨーロッパの主要ホールで演奏した。また最近のリサイタル活動ではロンドン（ウィグモア・ホール・マスター・シリーズ）、ニューヨーク（カーネギー・ホール・デビューシリーズ）、ザルツブルク（モーツァルテウム）、アムステルダム（コンセルトヘボウ）、パリ（パリ市立劇場）、チューリヒ（トーンハレ）、ルツェルン音楽祭を訪れている。南ドイツのドナウヴェルトに生まれ、6歳でヴァイオリンを始めた。その4年後、ミュンヘンのリヒャルト・シュトラウス音楽院のジュニア・クラスに進み、オルガ・ヴォイトヴァに師事した。クリストフ・ボッペンに一年間個人レッスンを受けた後、ミュンヘン音楽大学に入学し、2001年から2012年までアナ・チュマチェンコのもとで研鑽を積んだ。長年にわたり、日本財団、ボルレッティ・ブイトーニ・トラスト（2008年にフェローシップ）、若いソリストのためのオルフェウム財団（チューリヒ）、ドイツ音楽生活財団（ハンブルク）、ユルゲン・ポント財団（フランクフルト）など、多くの権威ある団体から支援を受けている。2003年にマインツで開催されたイブラ・ニーマン国際コンクールで1位に輝き、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭とメクレンブルク＝フォアポンメルン音楽祭では聴衆賞を獲得した。また、2011年から2013年までBBCラジオ3の新世代アーティストに、2010年から2012年までドルトムント・コンサートホールの“ユングヴィルデ”アーティストに選ばれた。使用楽器は日本音楽財団から貸与されたストラディヴァリウス「ドラゴネッティ」（1700年製）。



ヴェロニカ・エーベルレ  
(ヴァイオリン)

## シャイ・ウォスネル (ピアノ) Shai Wosner (Piano)

イスラエル生まれ。幼い頃から幅広く音楽教育を受け、エマニュエル・クラソフスキーにピアノを、アンドレ・ハイデュに作曲・理論・即興を師事する。その後、ジュリアード音楽院でエマニュエル・アックスに師事。これまでに、パレンボイム、ピエロフラーヴェク、コンロン、ギルバート、ヘルビッヒ、メータ、ウンジャン、ラニクルズ、スラットキン、ティト、トルトゥリエ等の指揮者のもと、ウィーン・フィル、シュターツカペレ・ベルリン、ベルギー国立管、BBCスコティッシュ響、フランクフルト放送響、バルセロナ響のほか、アメリカでは、シカゴ、クリーヴランド、ロサンゼルス、フィラデルフィア、サンフランシスコ等の各オーケストラと共演している。室内楽にも積極的に取り組み、マルティン・フロスト、リン・ハレル、ディートリヒ・ヘンシェル、チョーリャン・リン、クリスティアン・テツラフ、ピンカス・ズーカーマン等と共演。ボードン、ラヴィニアをはじめ、数多くの音楽祭にも招かれている。優れた芸術性と絶対的な音楽性、そして古典から現代作品におよぶ幅広いレパートリーで聴かせる洞察に満ちた演奏は、世界中から高い評価を得ている。マイケル・ハーシュに委嘱した協奏曲『Along the Ravines』はシアトル交響楽団とドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団で演奏し、注目を集めた。リンカーン・センターのマーティン・E・シーガル賞、エイブリー・フィッシャー・キャリア賞、ボルレッティ・ブイトーニ財団賞を受賞。ボストンのロンジー音楽院で教鞭を執る。ニューヨーク在住。



シャイ・ウォスネル  
(ピアノ)



# MIKIMOTO